

【 校 内 研 究 】

1. 研究主題

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
—「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価の実践—

2. 主題設定の理由

本校の校内研究は、現行の『学習指導要領』（以下『指導要領』と記す）が告示された平成29年度より「主体的・対話的で深い学び」の視点を意識した授業改善を継続して行ってきた。そのため、令和3年度に『学習指導要領』が全面実施された際は、スムーズに移行できたと考える。

一方で、令和3年から学習評価の観点が整理され、「主体的に学習に取り組む態度」という新たな観点が導入された。従前の「関心・意欲・態度」との見取り方や、他の観点との関連性を持たせるなど、これまでの違いに苦慮してきた3年間であった。しかし、この間は研修と日々の実践を重ね、新観点を力をどのように指導し評価すべかを模索し続けてきた。しかし、この観点の学習評価を「このようにすべきだ」と断言できるほど自信をもって指導と評価をすることができていない状況にある。また、研修や実践を重ねてきたことにより、新観点の内容について理解してきているが、教科間や同一教科の教師間でも「主体的に学習に取り組む態度」の捉え方に違いがあり、指導方法や評価方法に差異が生じているという課題が見られる。

以上のことから、これまで培ってきた「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践を行いながら学びに向かう力、人間性等を育み、「主体的に学習に取り組む態度」を教科内で同一の見解のもとで見取るかを追究することが必要不可欠であると考え、研究主題を設定した。

3. 研究仮説

- (1) 各授業において「主体的・対話的で深い学び」が実現できれば、生徒一人ひとりが自身の学習に向き合うことができ、「主体的に学習に取り組む態度」を育むことができるであろう。
- (2) 「主体的に学習に取り組む態度」を育む内容が明確になれば、生徒の学習をより正確に見取ることができ、妥当性や信頼性が高い学習評価を行うことができるであろう。

4. 研究目的

- (1) 全職員が、日常的に「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を行い、生徒に資質・能力を育む効果的な指導ができるようにする。
- (2) 生徒に身につけさせる資質・能力のうち、とりわけ「主体的に学習に取り組む態度」について、資質・能力の「内容」や「育み方（指導法）」、「見取り方（評価法）」について理解を深めた上で、妥当性や信頼性が高い学習評価を行えるようにする。

5. 研究計画

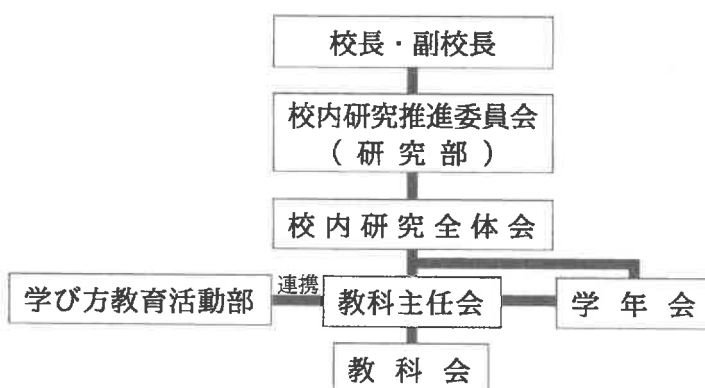
本研究は3年計画とし、今年度は3年目に位置付ける。各年度の研究目標は下表の通りとする。

1年目（R4年度）	○「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業づくりについて理解を深める。
2年目（R5年度）	○「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践を定着させる。 ○「主体的に学習に取り組む態度」の資質・能力の内容や育み方について理解を深めると共に、教科ごとに評価内容や方法について共有する。
3年目（R6年度）	○前年までの研究を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践と、教科内の同一見解をもとにした「主体的に学習に取り組む態度」の評価実践を行う。

6. 研究内容と方法

- (1) 授業公開を中心とした授業改善
 - ① 年間2回（前期・後期の各1回）の授業公開
 - ② 授業公開期間中における参観（各期2コマ以上）
 - ③ 日常の授業実践
- (2) 授業理論および評価理論の研究
 - ① 外部講師（市教委指導主事・大学教員など）による講演会（研修会）の開催・参加
 - ② 先行研究・参考文献の講読
- (3) 生徒・教師の実態調査
 - ① 質問紙または Google Forms 等を活用したアンケート調査（各学期1～2回程度）

7. 研究組織



8. 今年度の研究計画

日・期	研究内容	研究の主な取り組み
4/ 9(月)	校内研究全体会①	・今年度の研究方針の確認 ・教科研究課題の設定・共有
5/21(火)	校内研修①	・外部講師（湘南工科大学・尾崎誠准教授）による評価・評定に関する研修
5/ 7(火)～ 6/28(金)	授業公開（前期）	・1単元の授業を複数コマ公開 ・複数コマの授業を参観
6/10(月)	校内研究全体会②	・主体的に学習に取り組む態度の指導事例の共有
7/ 8(月)	校内研究全体会③	・授業公開（前期）のリフレクション
8/20(火)	校内研修（校内研究）	・外部講師による研修会（題目・講師 未定）
9/ 9(月)	校内研究全体会④	・後期の研究の確認
9/17(火)～ 11/22(金)	授業公開（後期） ※学年毎に実施時期指定の予定	・1単元の授業を複数コマ公開 ・複数コマの授業を参観
12/ 2(月)	校内研究全体会⑤	・授業公開（後期）のリフレクション
2/ 3(月)	校内研究全体会⑥	・今年度の研究のまとめ